

## 環境に配慮した製品づくりの取り組み

当社は、環境負荷を低減するために環境に配慮した製品づくりを進めています。

環境負荷の低減を目的とした4種類の項目を取り上げ、製品毎に特性に合った項目を選択し重量比率、売上高比率あるいは製品数比率を目標に定め活動を行っています。

4種類の項目は次の通りです。

- (1)環境配慮型製品化率の向上
- (2)省資源・省エネ率の向上
- (3)リサイクル率の向上
- (4)環境への影響が懸念されている物質(規制等化学物質)の管理と削減

活動の主な成果を下表に示します。(実績の基準時期は1998年末です。)

アセスメント項目	主な環境配慮型製品	1998年度 達成値	1999年度 達成値	2002年度 目標値
環境配慮型製品化率 の向上 <sup>(1)</sup>	エコグリーン 電線ケーブル	30%	50%	90%
	環境配慮型巻線	40%	48%	50%
	環境配慮型アルミ架空送電線	50%	55%	60%
	環境配慮型銅伝熱管(高性能品)	30%	31%	70%
省資源・省エネルギー 率の向上	光・情報システム関連機器の省エネ製品化率	0%	29%	50%
	半導体パッケージング材料梱包材削減量	0%	0%	50%
	化合物半導体省資源型製品化率	0%	開発中	50%
リサイクル率の向上	電線・ケーブル再生プラスチック使用量	31%	29% <sup>(2)</sup>	35%
	伸銅品製造工程発生銅再利用率	90%	90%	95%
規制等化学物質の 管理と削減	鉛フリーはんだめっき線の鉛削減量	0%	100%	100%
	自動車機器用ホースの塩化ビニル使用量	100%	10%	0%

(1)対象とした製品群の中で環境配慮型としての開発を終えた製品の占める割合を言います。

(2)エコ化によるビニル電線使用量減少に伴いポリエチレン材料の使用量が増えた結果再生材の主流を占める再生ビニル使用量が減少したことが原因と思われます。

環境配慮製品

環境への影響に配慮した日立電線の代表製品を紹介します。

種々のアプローチがありますが、廃棄時の環境汚損や火災発生時の有毒ガス発生等を防止することが重要な特性の一つとして要求されてきております。その要求に対しての日立電線の回答がエコグリーンです。

エコグリーン®の豊富なラインナップ



エコグリーン®電線

- 設備用 EM-IE、NH-IE
- 電車用 NH-LP
- 家電・OA用 ノンハロゲン電線  
エコグリーン®電子機器用電線  
(UL・CSA規格対応仕様)



エコグリーン®ケーブル

	【EMシリーズ】	【NH(高難燃)シリーズ】
電力用	EM-CE EM-EEF	NH-CE ——
制御用	EM-CEE	NH-CEE
計装用	EM-KPEE-S	NH-KPEE-S
情報通信用	EM-HUTP5	NH-HUTP5
同軸ケーブル	EM-ECXF	NH-ECXF
光ファイバ	EM-型番	NH-型番
耐火ケーブル	EM-FR8	NH-FR8
耐熱ケーブル	EM-FR4	NH-FR4
警報ケーブル	EM-AE	——
接続材料	EM-型番	——

\*NHシリーズはEMシリーズの上位品種で、EMシリーズの特性は全て満たします。

その他の環境配慮製品



**低風騒音防止電線**  
架空送電線が風を切る耳障りな音の発生を低減した、地球環境配慮型の電線です。

**難着雪型電線**  
架空送電線についた雪や氷が落下して人や家に被害を与えないよう開発された地域環境配慮型の電線です。



**非鉛PVC電子機器用電線**  
(UL・CSA規格対応仕様)  
土壌汚染を配慮して、材料に鉛化合物は使用していません。なお、従来の耐熱PVC絶縁電線と外観、寸法が同一で、火災発生時の安全性も同等です。



**耐磨耗型OC電線**  
電線と樹木が接触する部分は一部伐採されていましたが、耐磨耗性を向上させた本製品の使用により伐採を不要にしました。



**銅バスケット**  
銅イオンの殺菌作用により台所の流し台のぬめり・悪臭を防ぎ、排水を汚さない地域環境及び地球環境配慮型の製品です。

エコマーク  
認定商品

会社概要 (2000年3月31日現在)

商号 日立電線株式会社 Hitachi Cable,Ltd

設立年月日 1956年4月10日(創業1918年)

本社所在地 東京都千代田区大手町1丁目6番1号

代表者 取締役社長 原 精二

資本金 25,940百万円

売上高 294,194百万円

従業員 6,560名